

まちづくり市民ワークショップ

【第2回 報告書（概要版）】



令和7年12月
龍ヶ崎市

■グループAの成果①

■「若者や子育て世代が暮らしやすいまち」にするためには

テーマ	施策の提案	行政にやってほしいこと	市民ができること
暮らしやすいまち	まちなか再生の運営チームを作る	駐車場（駐輪場）の整備 お手洗いの整備（土・日曜日） 商工会のお手洗いの利用	商工会の意識改革 小野瀬邸の銀杏拾い 看板（商店）の見学会街並みに並べる 積極的に声をあげる
0才～18才まで切れ目ない居場所づくり	地域にある学校を活用する仕組みづくり	どらすてを若者向けに！	
		空家の事情や条件を深堀する	
		大学生・高校生に貸してくれる店舗を探す	
		商店街の空き地に仲介する	
		担当窓口を作ってもらう	
		大学生の起業「商店街」	
		ふるさと納税に力を入れよう！	
		長山小学校・松葉小学校の空き教室活用	
朝夕の学校の開放 速やかに！			
見守り隊の募集	見守り隊への参加		
遊ぶのは自己責任			
安価な保険への加入システム			
男性社会の脱却	父性を育てる	親育て講座	夫婦の意識改革
経済的支援	大規模な施策改革をして移住者を増やす		



■第2回「ワークショップのテーマ」
○第1回WSでまとめた5つのテーマに沿って、「若者や子育て世代が暮らしやすいまち」にするためには
施策や取組を提案してください。

①各分野について「こんな暮らしができるまち」の目標を設定しましょう。

■若者や子育て世代が暮らしやすいまちにするための目標

②「若者や子育て世代が暮らしやすいまちにするための「施策・取組み」と「取り組む側の役割」を提案してください。

分野	テーマ (5つ)	考えたいこと	施策の提案	行政にやって欲しいこと	取り組む側の役割	市民ができること
暮らしやすいまち	暮らしやすいまち	たつこ、お手洗いきれいになっておめ	まちなか再生の運営チームを作る		町会(婦)の設置 (土・日)のお手洗いの整備 どらすてを若者向けに！	商工会の意識改革 生野町の子ども会 積極的に声をあげる
		子育て世代の呼び込み。東原から、住宅街 長い通勤→会館(不)の中心は遠い。期間もかかる。 空き家の活用→公的施設				
0才～18才まで切れ目ない居場所づくり	0才～18才まで切れ目ない居場所づくり	学童保育の時間拡大 小学校が朝から開放されています 地域みんなで子育て			空き家の確保・中継車を確保する 商店街の空き家の活用(早急)	大学生・高校生に貸してくれる「高ぶる」 大学生の起業 担当窓口を作ってもらう
		コミュニティセンターの活用 若者高齢化・高齢者が交わる施設イベント(自治会など)コミュニティセンター。			ふるさと納税に力を入れよう！	
		遊び先がもっとほしい 放課後の学校開放			長山・松葉小の学校の開放 速やかに！ 見守り隊の募集	見守り隊への参加
		家業・育児の分担を当たり前 働く女性が安心して2人・3人子育てができる 男性育児 毎週1カ月		父性を育てる	親育て講座	夫婦の意識改革
経済的支援	経済的支援	本町の！ 教育費削減化 0～18 社会福祉化 保育園～中学 0～15			大規模な施策改革をして移住者を増やす！	

地域にある学校を活用する
↓
仕組みづくり

子育てのための

■グループAの成果②

■「全ての世代が学ぶことを楽しむことができるまち」にするためには

テーマ	施策の提案	行政にやってほしいこと	市民ができること
中高生のきっかけの場	小野瀬(登録文化財)で茶会		
オンライン配信 学ぶ機会の提供	職業訓練所を増やす 赤レンガ(内堀)でやっているのを拡充	PC作業等得意な方につなぐサービス 市民講座のポータルサイト	文化財を増やす
	誰もが学び続けられる仕組みづくり	IT機器を使えるような場 オンライン配信 アーカイブ機能の活用	学び考え続ける姿勢
生涯学びの提供	龍ヶ崎の文化継承、情報共有	まちづくりコーディネーター	興味を持ち参加する 登録文化財を活用するイベント企画 歴史ある街並をレトロな表現で市外にPR



■第2回 ワークショップのテーマ
○第1回WSでまとめた5つのテーマに沿って、「全ての世代が学ぶことを楽しむことができるまち」にするためには
施策や取組みを提案してください。

①各分野について「こんな暮らしができるまち」の目標を設定しましょう。

■全ての世代が学ぶことを楽しむことができるまちにするための目標

②「全ての世代が学ぶことを楽しむことができるまちにするための」「施策・取組み」と「取り組む際の役割」を提案してください。

分野	テーマ (5つ)	考えたいこと	施策の提案	取り組む際の役割	
				行政にやって欲しいこと	市民ができること
② 学校教育・生涯学習 (7~8世代)	中高生の きっかけの場	中・高生の交流センター 交差点11号 寺子屋 市民活動センターの利用 開放時間	小野瀬 (登録文化財) で茶会		
	オンライン配信 学ぶ機会の提供	オンラインで学べる キャリア教育講座 オンライン配信してほしい 誰もが学び続けられる 仕組みづくり	職業訓練所 を増やす 赤レンガ(内堀) で行っている のを拡充 IT機器を 使えるような場 オンライン配信 アーカイブ機能 の活用	市民講座の ポータルサイト	文化財を 増やす 学び考え 続ける姿勢
	中学生の社会の教育				
	高校生との女性のキャリア 座談会				
	コミュニティスクールで 地域で子育て				
	学業の支援				
	子供の自然体験学習				
	放課後の学校開放				
	学校が主体的 (放課後も構えてほしい)				
	生涯学びの 提供	市民大学の充実 働く女性のための学びの 講座	龍ヶ崎の 文化継承 情報共有	まちづくり コーディネーター	興味を持ち 参加する 登録文化財 を活用する イベント企画 歴史ある街並 をレトロな 表現で市外に PR
具体的な イベント企画	インド式 丸み豆及 たつこの山でオセロ大会				

グループBの成果①

「全ての市民が健康で暮らせるよう、健康福祉の取組やスポーツを推進するまち」にするためには

テーマ	施策の提案	行政にやってほしいこと	市民ができること
孤立	居場所作り「孤立」をなくす「皆の作業室」～一人になれる場所～の提案	場所、フォーマット情報	会員登録 実際に来てもらう
	クリーンディの増加。月1回くらい地域コミュニティに役立っている。	市が回数増やす 市内一斉清掃を現在年2回を増やす。集まれる日程を	市民は引き続き参加する
運動行事	市内各所を回るウォーキングスタンプラリー 長寿会のグランドゴルフ等の活動のオープン化	市の大会運営	市民が意欲的に参加する 子どもが楽しめる内容
	それぞれのコミュニティセンターごとに行っている行事を、子どもも含めて行う コミュニティセンターごとに競技を行い、市全体で代表者の競技を行う 朝のラジオ体操の普及・促進	各コミセンごとの行事を市でまとめてお知らせする	コミセンごとの運営
健康体力チェック	行政支援広い年代向けに健康増進への取り組みとして、体力測定を定期的に行う、ラジオ体操場所の提供参加者にはシールがもらえるなど行ってほしい	測定場所、人手の提供。統計をとって市民の健康増進への取り組みの見える化 ラジオ体操をもっと広めたら。ラジオ体操に参加したらシールをもらえるなど。 小学生、中学生で、例えば小5、中2で市内の子ども全員健康診断を行う。その結果を親子で共有。 将来の健康を早くから意識づけとなる	・市民は参加する ・同年代の交流が図れる
	定期的に体力測定(握力、肺活量、柔軟性など)を市内何カ所かでを行い、(土・日)に幅広い年代で健康意識を高める取り組みを行ってほしい		
健康体力チェック	グランドゴルフ(若柴、久保台)パタング、わなげ長寿会でやっている。長寿会だけでなく、他の年代にどう広げるか。	グランドゴルフをコミュニティセンターごとに行ってもらって市で大会を開く。間口を広くした上で大会をサポートしてもらう。	
	やっている地区と取り組んでない地区の違いをりゅうほう一などで取材して紹介		

■第2回 ワークショップのテーマ
○第1回WSでまとめた5つのテーマに沿って、「全ての市民が健康で暮らせるよう、健康福祉の取組やスポーツを推進するまち」にするためには 施策や取組みを提案してください。

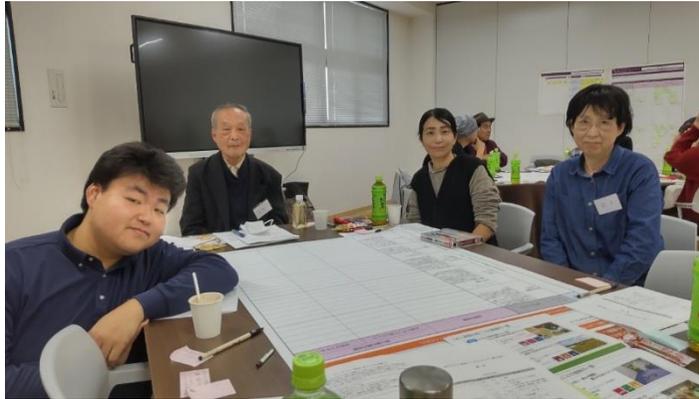
①各分野について「こんな暮らしができるまち」の目標を設定しましょう。

■全ての市民が健康で暮らせるよう、健康福祉の取組やスポーツを推進するまちにするための目標

②「全ての市民が健康で暮らせるよう、健康福祉の取組やスポーツを推進するまちにするための「施策・取組み」と「取り組む際の役割」を提案してください。

分野	テーマ (5つ)	考えたいこと	施策の提案	取り組む際の役割	
				行政にやって欲しいこと	市民ができること
孤立	孤立	ひきこもっている方の楽しみは？お遊ばなどでは悪い ひきこもりが一般国民と違う理由	「誰かの家」 一人にできる 休みの 時間	市が「皆の作業室」を 提供する	会員登録 実際に来てもらう
		ウォーキング大会などあったら、市民が参加しやすいように、イベント、練習を誘導。そこまでの歩数を記録させる。 子ども会との連携で、夏・クリスマス・お正月など、子ども会と連携して行事を行う。子ども会が主催する行事も行う。 子ども会と連携して、ラジオ体操の普及・促進	ウォーキング大会などあったら、市民が参加しやすいように、イベント、練習を誘導。そこまでの歩数を記録させる。 子ども会との連携で、夏・クリスマス・お正月など、子ども会と連携して行事を行う。子ども会が主催する行事も行う。 子ども会と連携して、ラジオ体操の普及・促進	市の大会運営	市民が意欲的に参加する 子どもが楽しめる内容
運動行事	運動行事	ウォーキング大会などあったら、市民が参加しやすいように、イベント、練習を誘導。そこまでの歩数を記録させる。 子ども会との連携で、夏・クリスマス・お正月など、子ども会と連携して行事を行う。子ども会が主催する行事も行う。 子ども会と連携して、ラジオ体操の普及・促進	ウォーキング大会などあったら、市民が参加しやすいように、イベント、練習を誘導。そこまでの歩数を記録させる。 子ども会との連携で、夏・クリスマス・お正月など、子ども会と連携して行事を行う。子ども会が主催する行事も行う。 子ども会と連携して、ラジオ体操の普及・促進	市の大会運営	市民が意欲的に参加する 子どもが楽しめる内容
		ラジオ体操の普及・促進	ラジオ体操の普及・促進	ラジオ体操の普及・促進	ラジオ体操の普及・促進
健康体力チェック	健康体力チェック	行政支援広い年代向けに健康増進への取り組みとして、体力測定を定期的に行う、ラジオ体操場所の提供参加者にはシールがもらえるなど行ってほしい	行政支援広い年代向けに健康増進への取り組みとして、体力測定を定期的に行う、ラジオ体操場所の提供参加者にはシールがもらえるなど行ってほしい	行政支援広い年代向けに健康増進への取り組みとして、体力測定を定期的に行う、ラジオ体操場所の提供参加者にはシールがもらえるなど行ってほしい	行政支援広い年代向けに健康増進への取り組みとして、体力測定を定期的に行う、ラジオ体操場所の提供参加者にはシールがもらえるなど行ってほしい
		定期的に体力測定(握力、肺活量、柔軟性など)を市内何カ所かでを行い、(土・日)に幅広い年代で健康意識を高める取り組みを行ってほしい	定期的に体力測定(握力、肺活量、柔軟性など)を市内何カ所かでを行い、(土・日)に幅広い年代で健康意識を高める取り組みを行ってほしい	定期的に体力測定(握力、肺活量、柔軟性など)を市内何カ所かでを行い、(土・日)に幅広い年代で健康意識を高める取り組みを行ってほしい	定期的に体力測定(握力、肺活量、柔軟性など)を市内何カ所かでを行い、(土・日)に幅広い年代で健康意識を高める取り組みを行ってほしい
健康体力チェック	健康体力チェック	定期的に体力測定(握力、肺活量、柔軟性など)を市内何カ所かでを行い、(土・日)に幅広い年代で健康意識を高める取り組みを行ってほしい	定期的に体力測定(握力、肺活量、柔軟性など)を市内何カ所かでを行い、(土・日)に幅広い年代で健康意識を高める取り組みを行ってほしい	定期的に体力測定(握力、肺活量、柔軟性など)を市内何カ所かでを行い、(土・日)に幅広い年代で健康意識を高める取り組みを行ってほしい	定期的に体力測定(握力、肺活量、柔軟性など)を市内何カ所かでを行い、(土・日)に幅広い年代で健康意識を高める取り組みを行ってほしい
		グランドゴルフ(若柴、久保台)パタング、わなげ長寿会でやっている。長寿会だけでなく、他の年代にどう広げるか。	グランドゴルフをコミュニティセンターごとに行ってもらって市で大会を開く。間口を広くした上で大会をサポートしてもらう。	グランドゴルフをコミュニティセンターごとに行ってもらって市で大会を開く。間口を広くした上で大会をサポートしてもらう。	グランドゴルフをコミュニティセンターごとに行ってもらって市で大会を開く。間口を広くした上で大会をサポートしてもらう。
健康体力チェック	健康体力チェック	グランドゴルフ(若柴、久保台)パタング、わなげ長寿会でやっている。長寿会だけでなく、他の年代にどう広げるか。	グランドゴルフをコミュニティセンターごとに行ってもらって市で大会を開く。間口を広くした上で大会をサポートしてもらう。	グランドゴルフをコミュニティセンターごとに行ってもらって市で大会を開く。間口を広くした上で大会をサポートしてもらう。	グランドゴルフをコミュニティセンターごとに行ってもらって市で大会を開く。間口を広くした上で大会をサポートしてもらう。
		やっている地区と取り組んでない地区の違いをりゅうほう一などで取材して紹介			
健康体力チェック	健康体力チェック	やっている地区と取り組んでない地区の違いをりゅうほう一などで取材して紹介			

現状の課題	公民館市民講座(健康麻雀)の募集枠の制限の改善	行政は ・枠を広げる ・先着順でなく抽選にする	市民は改善を提案する。
	市民のコミュニティセンターで行われている講座を市民で共有できるようにアナログ、デジタル両面でりゅうほうーとラインでのお知らせ	ペタング、健康麻雀など、項目別にどこでやることができるか。知りたい市民はいると思う。	
	コミュニティセンターの口座の改善。現在、女性向けが多すぎる。		
行政による支援	市民個々の特性に合わせた情報の提供 デジタルトランスフォーメーション(つくば市)	行政は情報を発信する	



■グループCの成果①

■「全ての企業や事業者の事業活動、起業・創業を支援するとともに、多様な働き方、女性活躍を実現するまち」にするためには

テーマ	施策の提案	行政にやってほしいこと	市民ができること
起業する人の環境・支援を良くする 人財を確保する	起業家を町づくり人材とむすびつける	商工会・市役所・大学を連携する仕組みを作る	バックアップ 歓迎会をする
大学との連携を深める	事業提案イベント	場所・予算提供 専門家確保	ボランティア
地域文化・歴史を活用	芸術家の人を来させる	アニメスタジオを作る	ステンドグラス
	現代アート		
	ガラス工場		
	伝統的なおまつりに女性が参加		
新しい産業を育成する	まんがを作る	農家の方たちに協力	ボランティア アイデア 企画出し
女性活躍推進	陸上養殖 うなぎ・鯛など 食の体験収穫イベント	場所提供	市民が運営
	環境を整える		
	女性がふらっと相談できる場所		
	女性が働きやすい基準作り	基準達成した会社への減税助成金	アイデア出し



■第2回 ワークショップのテーマ
○第1回WSでまとめた5つのテーマに沿って、「全ての企業や事業者の事業活動、起業・創業を支援するとともに、多様な働き方、女性活躍を実現するまち」にするためには

①各分野について「こんな暮らしができるまち」の目標を設定しましょう。
■全ての企業や事業者の事業活動、起業・創業を支援するとともに、多様な働き方、女性活躍を実現するまちにするための目標

②全ての企業や事業者の事業活動、起業・創業を支援するとともに、多様な働き方、女性活躍を実現するまちにするための「施策・取組み」と「取り組む役割」を提案してください。

分野	テーマ (5つ)	考えたいこと	施策の提案	取り組む役割		
				行政にやって欲しいこと	市民ができること	
⑤産業・経済 市街地活性化 働き場の活性化	起業する人の環境・支援を良くする 人財を確保する	空き家を利用した職場を作る 自然環境を利用した創造的な遊びの空間を作る。ワークショップ。 新たに起業する人々に市は支援し、多くの会社をつくるべき。 駅前にも作る(観光市駅)テレワーク 市部の参加する場所を確保する 観光市駅周辺にワークスペースを奨励する。 東京などと比較して、住みよい、仕事のしやすい環境を作る	起業家を町づくり人材とむすびつける	商工会・市役所・大学を連携する仕組みを作る	バックアップ 歓迎会をする	
	大学との連携を深める	大学に理学系の学部を作る 若者で起業をしたい人が多い	事業提案イベント	場所・予算提供	ボランティア	
	地域文化・歴史を活用	歴史と文化の町を標榜することができるモデルの場所を作る 平塚からの文化がある。 アニメの町を目指して、各種取組み	芸術家の人を来させる 伝統的なおまつりに女性が参加 現代アート まんがを作る ガラス工場		アニメスタジオを作る	ステンドグラス
	新しい産業を育成する	各企業のための研究開発を市で立ち上げ、連携し、研究者の育成に努める。 今年から、市での職种を確保する事ができるため、これらを支援して、新しい企業を作るべき。 新しい産業の発展推進 ピカッと光る新事業 市の素材を6次産業にするための推進がない。	陸上養殖 うなぎ・鯛など	陸上養殖 うなぎ・鯛など 食の体験収穫イベント	農家の方たちに協力	ボランティア アイデア 企画出し
	女性活躍推進	権利厚生・育児休暇の推進	環境を整える 女性が働きやすい基準作り	女性がふらっと相談できる場所 場所提供	基準達成した会社への減税助成金	市民が運営 アイデア出し

グループDの成果①

■「激甚化する自然災害や日常生活の危険から市民を守るまち」にするためには			
テーマ	施策の提案	行政にやってほしいこと	市民ができること
人とつながりによる災害の対応	町内(班)の情報交換。班の集まりによる人のつながり 市のホームページを活用する 自治会の役割明確	各家庭への集まりへの声掛け 最終的に市で管理する(バラバラは無理)	若い世代の町内会参画として、町内会公式LINEからの発信 ボランティア証明書の発行
	コンビニエンスストアや掲示板等で多く貼り、強く認識させる。 自治会に広報を配布する。	マーケティング部門を市役所で作るか、外部に委託する 9/1防災の日イベント 市役所にて 市内各地域での防災動画発表会 市のyoutubeで共有	メリットの強調・明確化 若者がLINEの使い方講座 避難訓練の実施(自治会・町内)
	龍ヶ崎市のコミュニティラジオ局を作る！！	SNS(HP)で存在を認知	市の不動産会社にハザードマップの共有を依頼して、協力してもらう。
どうしたら水害発生時に被害者数を抑えられるか	マンション居住者向け防災教室	市のホームページ、SNSの発信方法の改善、分かりやすさ重視	市民の参加
	防災キャンプの実施	自治体・消防団と連携したイベントの開催	
	防災無線が聞きづらい	youtubeでの防災無線の共有	
龍ヶ崎の防犯として、何が大事か必要か	設備の増加	街灯を増やす 人通りの多い場所の調査 空家処分法についての積極的発信	行政に対しての依頼
	自治体のゴミ出し等について、日本語と英語の表記	広報で周知	



■第2回 ワークショップのテーマ
○第1回WSでまとめた5つのテーマに沿って、「激甚化する自然災害や日常生活の危険から市民を守るまち」にするためには

①各分野について「こんな暮らしができるまち」の目標を設定しましょう。

■激甚化する自然災害や日常生活の危険から市民を守るまちにするための目標

②「激甚化する自然災害や日常生活の危険から市民を守るまち」のための「施策・取組み」と「取り組む際の役割」を提案してください。

分野	テーマ(5つ)	考えたいこと	施策の提案		取り組む際の役割	
			行政にやってほしいこと	市民ができること		
情報	自治会ごとに専用のLINEを作る 市の情報共有ツールの作成 若い人が自治会に入りやすい環境づくり	町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	自治会への集まりへの声掛け	最終的に市で管理する(バラバラは無理)	若い世代の町内会参画として、LINEからの発信
			町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	自治会への集まりへの声掛け	最終的に市で管理する(バラバラは無理)	若い世代の町内会参画として、LINEからの発信
			町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	自治会への集まりへの声掛け	最終的に市で管理する(バラバラは無理)	若い世代の町内会参画として、LINEからの発信
活動	町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	自治会への集まりへの声掛け	最終的に市で管理する(バラバラは無理)	若い世代の町内会参画として、LINEからの発信
			町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	自治会への集まりへの声掛け	最終的に市で管理する(バラバラは無理)	若い世代の町内会参画として、LINEからの発信
			町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	自治会への集まりへの声掛け	最終的に市で管理する(バラバラは無理)	若い世代の町内会参画として、LINEからの発信
設置	町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	自治会への集まりへの声掛け	最終的に市で管理する(バラバラは無理)	若い世代の町内会参画として、LINEからの発信
			町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	自治会への集まりへの声掛け	最終的に市で管理する(バラバラは無理)	若い世代の町内会参画として、LINEからの発信
			町内(班)の情報交換、班の集まりによる人のつながり	自治会への集まりへの声掛け	最終的に市で管理する(バラバラは無理)	若い世代の町内会参画として、LINEからの発信

■グループDの成果②

■「人口減少・高齢化が進む中でも、生活利便性や移動利便性が確保され、暮らしやすいまち」にするためには

テーマ	施策の提案	行政にやってほしいこと	市民ができること
何をして人口を増やすか	市議会議員とのタウンMTGを増やす。	まちづくり市民ワークショップの継続的な開催	市民の参加 若者の参加
	特急が停まることをアピール →東京に通う人を呼び込み	龍ヶ崎駅周辺に企業を呼び込む	
	アピール点の深堀り		
	youtube で自主製作動画を作る	観光協会との連携	
	コロケの自販機(例:オランダ)	SNSなどで積極的にアピール 市の SNS で求人広告を掲載するページを作る 観光協会との連携	Xやインスタでの告知 企業側は求人広告を出す
	たつのこ山 →たつのこ富士ハ		
	ドラマ等のロケ地として使ってもらう 求人広告を出す		
ボランティアポイント制度の電子化 現金よりも安くする			
龍ヶ崎市の移動手段に何を加えるべきか	龍ヶ崎線の本数増加 地域通貨の電子マネーを作り、利用すると市民はポイントがつくようにする	龍ヶ崎駅周辺に企業を呼び込む 行政の方で、関鉄龍ヶ崎線の利用をアピールする	市民が公共交通を利用する
	市が管理する自転車の貸し出しサービス	レンタルできる自転車の導入	積極的に利用する



■第2回 ワークショップのテーマ
○第1回WSでまとめた5つのテーマに沿って、「人口減少・高齢化が進む中でも、生活利便性や移動利便性が確保され、暮らしやすいまち」にするためには
施策や取組みを提案してください。

①各分野について「こんな暮らしができるまち」の目標を設定しましょう。

■人口減少・高齢化が進む中でも、生活利便性や移動利便性が確保され、暮らしやすいまちにするための目標

②「人口減少・高齢化が進む中でも、生活利便性や移動利便性が確保され、暮らしやすいまちにするための」「施策・取組み」と「取り組む役割」を提案してください。

分野	テーマ(5つ)	考えたいこと	施策の提案	取り組む役割			
				行政にやって欲しいこと	市民ができること		
何をして人口を増やすか	① つながり	行政の人達との顔の見える関係性	市議会議員とのタウンMTGを増やす	まちづくり市民ワークショップの継続的な開催	市民の参加 若者の参加		
		市民参加制度の復活					
	② 若者向け	起業創業マインド	働きやすいこと パート・アルバイト 求職しやすい	電気給排水に 企業を呼び込む			
		住宅地の整備					
	③ イベント	開業鉄道以外にもコロケをアピールする					
		求職者イベント、(インフルエンサーの集い)					
	④ 何をして人口を増やすか	アートイベント					
		空家を利用した魅力の創出(キッチン)	アパートの 深堀り	Youtubeで 自主制作 動画をやる	観光協会 との連携		
	龍ヶ崎市の移動手段に何を加えるべきか	①	龍ヶ崎線の本数増加				
			地域通貨の電子マネーを作り、利用すると市民はポイントがつくようにする				
②		龍ヶ崎駅周辺に企業を呼び込む					
		行政の方で、関鉄龍ヶ崎線の利用をアピールする					
③		市民が公共交通を利用する					
		市が管理する自転車の貸し出しサービス					
④		レンタルできる自転車の導入					
		積極的に利用する					
龍ヶ崎市の移動手段に何を加えるべきか		①	龍ヶ崎線の本数増加	電気給排水の本数増加	SNSなどで積極的にアピール	行政の方で、関鉄龍ヶ崎線の利用をアピールする	市民が公共交通機関を利用する
			地域通貨の電子マネーを作り、利用すると市民はポイントがつくようにする				
	②	龍ヶ崎駅周辺に企業を呼び込む					
		行政の方で、関鉄龍ヶ崎線の利用をアピールする					
	③	市民が公共交通を利用する					
		市が管理する自転車の貸し出しサービス					
	④	レンタルできる自転車の導入					
		積極的に利用する					